

■神戸港港湾審議会 第44回環境整備負担金部会 議事要旨

1. 日 時：令和7年1月22日（水）14：30～15：00
2. 場 所：神戸市役所1号館28階 神戸市会第4委員会室
3. 出席委員：伊藤 秀和 部会長（リモート参加）
齊藤 由里恵 委員（リモート参加）
のまち 圭一 委員
朝倉 えつ子 委員
吉井 満隆 委員 代理：大塚 隆生 氏（リモート参加）
長田 庄太郎 委員（リモート参加）
久保 昌三 委員 代理：松田 利夫 氏
若松 康裕 委員 代理：西川 恵太郎 氏
吉岡 幸治 委員 代理：西澤 昭徳 氏
臼井 謙彰 委員 代理：豊永 雅一 氏
出席委員10名（うち代理5名）
4. 市側出席：港湾局 小沢副局長、経営企画課 竹内課長（調整担当）
（松下係長、野尻野）

5. 議事次第

- ① 開会…14：30
- ② 委員の出席状況報告…委員11名のうち10名が出席しており、「神戸港港湾審議会条例」第6条第2項に定める定足数を満たしていることを確認した。
- ③ 委員の紹介
- ④ 審議…令和6年度港湾環境整備負担金に関する負担対象工事の指定について
- ⑤ 質疑応答

（委員）2号、4号工事費について、過去10年、物価高騰により増加傾向となっているが、負担割合は変わらず2分の1の状態となっている。今後も増加が見込まれるが、神戸市としてはどう考えているのか。

（事務局）2号、4号工事費が人件費や資材費の高騰により増加傾向にあることは承知している。大都市の原価指数も10年で2～3割増加しており、入札金額も増加している状態である。

環境整備負担金は、港湾管理者（神戸市）が港湾環境の整備・保全等のために実施した工事費の一部について、港湾に立地する事業者（敷地面積1万㎡以上）より徴収する制度であるが、1号工事費は年度間の差が大きいため、事業者の負担が平準化するよう、激変緩和の措置として、これまでも負担割合を変動させてきている。

2号、4号工事費の増加は、主に物価変動が要因であるため、事務局としても負担割合を変更するべきかの判断が難しく、今後も皆様と検討していきたい。

なお、来年度の1号工事費について、増加が見込まれており、過去のバランスも見て、今年度は50分の1での提案となっている。

（委員）2号、4号工事費は固定的な費用であると思う。現在、新港突堤の部分でPPP（官民連携）による緑地の運営を予定しているが、その他の緑地を含め民間の力を活用し、緑地の維持管理にかかる負担軽減につなげる工夫をしていただきたいと思います。

- ⑥ 議決…異議なく原案通り承認することに決定した。
- ⑦ 閉会…15：00